

●●● 脱炭素チャレンジカップ2023 挨拶



環境省 地球環境局 地球温暖化対策課
脱炭素ライフスタイル推進室 室長

井上 雄祐

「脱炭素チャレンジカップ2023」の表彰式にあたり、環境省を代表して、御挨拶を申し上げます。
まずは「脱炭素チャレンジカップ2023」が、盛大に開催されたことを心よりお慶び申し上げます。本日は、ファイナリストの皆様への地域に根ざし、創意工夫に満ちた大変素晴らしい取組を聞かせていただきました。プレゼンテーションをされた皆様、大変おつかれさまでした。そして、文部科学大臣賞をはじめ、既に各賞を受賞された皆様、誠におめでとうございます。

環境省では2050年までにCO₂排出量をゼロにしていく、2030年には半減していく目標を掲げています。そういった中で、このような取組は先駆けになっていくと思っております。昨年10月より新しい国民運動を進めており、脱炭素チャレンジカップに出場いただいた皆様を後方から支援していきたいと思っております。この国民運動は、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを行ってこうという取組で、今後、官民連携の協議会の立ち上げを予定しています。こちらにも御参加いただけましたらうれしいです。

本日御参加された皆様には、ここで学ばれた知恵をそれぞれの御地元でも共有いただき、広く地域の皆様に気候変動対策の自発的な行動を促していただき、気候変動対策の輪を、一段と拡げていってくださいますことを、心よりお願い申し上げます。

結びに、御多忙の中、気候変動対策について学びあい、連携の輪を上げていくための「場」を全国各地にお作りいただいた小宮山先生はじめ実行委員の皆様、審査員の皆様、御協賛・御協力いただいた企業・団体の皆様、そして縁の下からこのイベントを支えてくださった地球温暖化防止活動推進センターの皆様、そして本日御参加の皆様方の今後ますますの御健勝とご活躍を祈念いたしまして、私からの御挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。



文部科学省総合教育政策局
男女共同参画共生社会学習・安全課長

安里 賀奈子

脱炭素チャレンジカップ2023表彰式にあたり、一言御挨拶を申し上げます。

本日、各賞を受賞される皆様、誠におめでとうございます。また、惜しくも入賞には至らなかった皆様におかれましても、それぞれの地域において、素晴らしい取組をされているものと承知しております。皆様の日頃からの御尽力に深く敬意を表します。

令和3年6月2日に地球温暖化対策の推進に関する法律が改正され、2050年までの脱炭素社会の実現、環境・経済・社会の統合的向上、国民を始めとした関係者の密接な連携等を、地球温暖化対策を推進する上での基本理念として規定する等、国民の環境等に対する取組への協力や理解が前提であることが示されたところです。まさに現在、地球温暖化防止を始めとする持続可能な社会の構築に向けた活動の必要性は、一層高まっております。

文部科学省としましても、学校における環境教育の充実や、自然体験をはじめとした様々な体験活動の推進、持続可能な開発のための教育であるESDの推進など、環境教育の推進に取り組んでいるところです。

この「脱炭素チャレンジカップ」は、地球温暖化防止に向けた取組に関する優れた取組やノウハウを全国に広げていくとともに、プレゼンテーションや資料展示等を通じて、互いに学び合うことにより、持続可能な社会の構築に繋がる、大変素晴らしい取組と考えております。

本日、御参加の皆様、特に小学校、中学校、高校等の皆様におかれましては、学校や地域における環境教育で学んだ様々な経験や知識を活かし、持続可能な社会の実現に向けて、脱炭素、地球温暖化防止に関わる活動に、今後もぜひ積極的に取り組んでいただきますようお願い申し上げます。

結びに、脱炭素チャレンジカップ2023の開催に御尽力いただきました小宮山実行委員長をはじめとする関係者の皆様に厚く御礼を申し上げますとともに、本日御参加の皆様方の益々の御健勝と一層の御活躍を祈念いたしまして、御挨拶とさせていただきます。